

科目名	業務用語 2							年度	2025
英語科目名	Duties term 2							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 1 年次	必／選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	星野虎之助	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）		
【科目の目的】 患者とのコミュニケーションを取るためにも必要な医療全般で用いられる専門用語を理解することを目的とする。									
【科目の概要】 業務上必要な各用語について学びます。									
【到達目標】 医学領域において、使用頻度の高い基本的な用語や患者さんとの会話に使いやすい時事に絡む医事用語、解剖学・運動学の用語から、診療情報の伝達に頻繁に用いられる病名や症状、治療方法や手術方法、検査名など臨床用語まで、日本語、英語名、ギリシャ語或いはラテン語およびそれら用語の略語を理解し、他の医学系科目の講義での専門用語を導入した講義にスムーズに参加できることを目標とする。									
【授業の注意点】 医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	医療分野の職域について完全に理解している。	医療分野の職域について大体理解している	医療分野の職域について部分的に理解している。	医療分野の職域についての理解がやや不足している。	理解していない。				
到達目標 B	診療科の区分について完全に理解している。	診療科の区分について大体理解している	診療科の区分について部分的に理解している。	診療科の区分についての理解がやや不足している。	診療科の区分について理解していない。				
到達目標 C	骨のマクロ解剖とミクロ解剖について完全に理解している。	骨のマクロ解剖とミクロ解剖について大体理解している	骨のマクロ解剖とミクロ解剖について部分的に理解している。	骨のマクロ解剖とミクロ解剖についての理解がやや不足している。	骨のマクロ解剖とミクロ解剖について理解していない。				
到達目標 D	筋のマクロ解剖とミクロ解剖について完全に理解している。	筋のマクロ解剖とミクロ解剖について大体理解している	筋のマクロ解剖とミクロ解剖について部分的に理解している。	筋のマクロ解剖とミクロ解剖についての理解がやや不足している。	筋のマクロ解剖とミクロ解剖について理解していない。				
到達目標 E	上肢・下肢の動きについて完全に理解している。	上肢・下肢の動きについて大体理解している	上肢・下肢の動きについて部分的に理解している。	上肢・下肢の動きについての理解がやや不足している。	上肢・下肢の動きについて理解していない。				
【教科書】 毎回配布するテーマに沿ったプリントに準拠する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義。実習、演習のいずれかを記入。									

